



# 花北青雲PTA会報

第109号



## ◆目次◆

- 冒険家 坂本 達 氏 講演会 …… 9
- 校内ロードレース大会 …… 7・8
- 青雲祭おふくろ亭 …… 10
- 専門委員会活動報告 …… 6～
- 生徒の活躍 …… 12～







## 令和7年度定期総会

令和7年度PTA総会は、5月2日(金)15時10分より本校多目的教室にて開催されました。総会では、令和6年度の事業報告および会計報告、令和7年度の役員改選、事業計画、会計予算について審議が行われ、すべて承認されました。また、今年度より「母親委員会」の名称を「保護者交流委員会」へと変更し、活動内容はそのままに、より多様な保護者が関わりやすい形へと見直しました。当日は87名が出席し、委任状462



通を含め、会員の皆様のご承認をいただきました。今後ともPTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。(事務局)



## 岩手県高P連定期総会

令和7年度岩手県高等学校PTA連合会定期総会が、6月4日(水)にサンセーブル盛岡で開催されました。本校からは、平賀PTA会長、校長、PTA事務局長の私が出席しました。総会では、令和7年度の事業計画や予算案などが審議され、すべて議案書の通り承認されました。また、「令和7年度岩手県高等学校PTA連合会表彰者」として、本校のPTA活動に多大なご貢献をいただいた前PTA



会長・宮野隆一様が表彰されました。これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。今後も本校PTA活動のさらなる充実に向け、役員一同努めてまいります。(事務局)

## 中部地区高等学校PTA連絡協議会

令和7年度第67回岩手県中部地区高等学校PTA連絡協議会が、5月13日(火)13時30分より黒沢尻工業高等学校にて開催されました。本校からは、平賀PTA会長、高橋校長、事務局1名が参加しました。

受付後、開会に先立ち、黒沢尻工業高校元PTA会長・齋藤芳里氏による講話が行われ、PTA活動に対する熱意と経験に基づいたお話に、参加者一同深くうなずいておりました。

その後の協議会では、令和6年度の事業・会計報告および令和7年度の事業計画・予算案について審議が行われ、すべて原案通り承認されました。(事務局)

## 岩手県高P連保護者つながる交流会

保護者交流委員

多田 陸恵  
県高P連保護者つながる

交流会は9月24日水曜日午後からサンセーブル盛岡で行われました。少子高齢化の現在、未来へ続くカラダづくりということ、エクササイズを含めた中田幸恵氏の講演、その後の交流会での議題は、なんでも自由に討論ということ、高校再編についての率直な親の意見、生徒が増え続けている栗石高校の話や、携帯電話一人1台の時代、どうやって対応していくか等、同じ高校生の子を持つ親同士の交流会となりました。

今は学校の連絡もメールやSNS等デジタルで行われるなど、私たちが子供の頃とはだいぶ変わってきています。便利な反面、子供達は、友達とのやり取りで、既読が遅くなるのを気にしたり、仲間の一言一言を気にしたり、自分がどう思われるか非常に気にしている子が多く感じました。私達の声かけで、子供本人が自信をもてたり、自分をしっかり持てるように接していくのはどうしたらよいか、考えるきっかけになりました。



第74回東北地区  
高P連 仙台大会  
7月2日(水) 仙台サンプラザホール

私になにができるか

副会長 多田 睦恵



4月、娘とともに、花北青雲高等学校に入學し、P

TAに入会し、1年生の代表になって初めてのPTAの大会。『そんなものがあるのね』と初参加。内容は講演会と発表らしい。

よくわからず参加しましたが、結論、とてもとても良かったの一言につきます。世の中に、こんな素敵なPTAの大会があるのだと、高校のPTA活動も捨てたものじゃないな。とちょっとうれしくなる大会でした。本題に入る前に、まず、PTAの言葉の意味、知っていますか？恥ずかしながら、私はいままで考えたこともなく、この会に参加してはじめて、P = Parents (保護者)、T = Teacher (先生)、A = Association (組織)の略で、『親と先生が協力して、子供たちを育てる。』という意味。ですが、今は、PTA役員＝面倒という意識だけが独り歩きして、どの学校でも役員になった人は貧乏くじ

を引いたと思う…いやいや、先生たちと協力して、子供たちを見る事ができるとても素敵な活動ではないでしょうか。

さて、このPTA連合会の大会。何が良かったのかというと、初めから最後まで、あらゆる可能性を見出せる点がとても良かった。一言につきます。

オープニング発表の宮城県大河原産業高校ギター部の演奏からすごかった。クラシックギターだけの演奏なのに、沢山の引き出しから音があふれるように、あらゆる表現がなされ、3曲の演奏に心つかまれ、身を乗り出して、手拍子片手に聞いている聴衆達。クラシックギターを弾く高校生がカッコいい。そして音楽もリズムもよい。ギターを子供に置き換えるような、広がりのある音楽。素敵でした。

基調講演では、JAXA小惑星探査機『はやぶさ2』を開発した教授、川口淳一郎氏が『はやぶさ2』の開発を例えに、新しい発見をする際の物の考え方を述べていました。印象に残った言葉は、紙に書いてあることはすべて過去の事、新しい発見は、今までの論文や常識にとらわれない自由な

発想が大事。それでもリスクは最小限にとどめることは重要。これはAIの発達してくるこれからにおいて大事な考え方で、どうやって子供たちに伝えようか、集中して聞いて、あっという間の90分。

仙台育英高校のチアリーダー部のパフォーマンスでは、元気に一生懸命ダンスする彼女たちを見ながら、何かに集中しているときのキラキラ感、素敵だなと思いました。

その後『見つけよう。個々の力を生かすPTA活動とは』のテーマに沿った発表、PTA離れが進む現状なのか、登壇された各県の発表者は、とても熱い心で、常に前向きに、地域にあった方法で、楽しんで活動している様子がよくわかりました。

私もPTA役員として、どんな活動ができるのか考えました。PTA役員の問題点、『なりたい人がいない』これについては、子供たちを支える面からのアプローチが今後必要ではないかと思えます。例えば、PTA役員以外でも、学校行事を手伝ってくれる方の募集。わが校でいうと、ロードレースや、文化祭や体育祭。高校生になると、親御さんが学校に観に行くこと

が少なくなり子供の活躍を見ることも減りますが、サポートとして参加していただくことにより、一緒に校内行事を楽しむことができます。そんな環境を作ってもよいのではないかと。多くの方がPTA活動に参加できることにより学校の団結も強固なものになり、親にとっても楽しい学校活動の思い出となることでしょう。そんなことを考えながら、発表を見終えて、とても充実した大会だったと心から楽しませていただきました。

一緒に同行していただいた、会長、先輩副会長、そして先生方、本当にありがとうございました。これを讀んだ方が、PTA活動、一緒にやってみよう。と思う方が居ればうれしいです。

生徒達のために、わが子のために、子供たちの将来のために、私たちはこれから何をしますか？どんなことをしたいですか？一緒に考え、行動していきましょう。



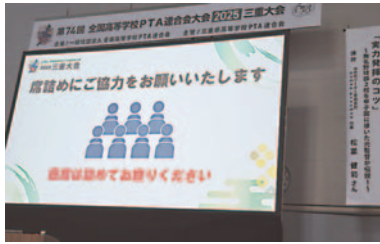
第74回全国高P連大会  
2025 三重大会

令和7年8月21日(木)・22日(金)の2日間にわたり、三重県津市を主会場として開催された「第74回全国高等学校PTA連合会大会三重大会」に参加しました。

本校からは、平賀PTA会長、高橋校長、そして事務局長である私の3名が出席いたしました。

当日は、始発の新幹線に乗って岩手を出発し、名古屋駅に到着後、シャトルバスで津市へと向かいました。会場となった日硝ハイウェイアリーナまでは、名古屋から片道2時間弱の移動が必要であり、2日間とも往復することとなりました。観光を楽しむ余裕はなく、移動に参加に追われる慌ただしい日程ではありませんでしたが、全国から集まったPTA関係者の熱意と学びの場に身を置くことができ、大変有意義な2日間となりました。

初日は、第2分科会「実力発揮のコツ」に参加しました。講師は、三重県内の無名公立高校2校を甲子園に導いた実績を持つ元高校野球監督であり、現在は次世代リーダー育成会社「H



uman Freeman」代表を務める松葉健司氏。ご自身の教員時代の豊富な経験をもとに、勉強や部活動に励む生徒たちが「本番で力を発揮できるかどうか」の違いについて、数多くの事例を交えながら語ってくださいました。松葉氏は、同じように努力していても結果が出る生徒とそうでない生徒、本番に強い生徒と緊張で力を出しきれない生徒の違いに注目し、長年の観察と対話を通じてたどり着いたキーワードが「集中力」であると語ります。集中力は人間の本能的な力であり、これをいかに引き出すかが、実力発揮の鍵になるとのことでした。現代は情報過多で価値観も多様化し、集中力が低下しやすい時代。だからこそ、心のバランスや循環を意識し、集中力を高める環境づくりが重要であるというお話は、教育現場だけでなく、家庭での子どもとの関わりにも深く通じる内容でした。

後に、講演教育現場

場やPTA活動に関わるファシリテーターやパネリストによるミニディスカッションも行われました。元PTA会長、現役教員、卒業生といった多様な立場の方々から、それぞれの視点から「学校で育みたい力」について語り合い、参加者同士の理解を深める貴重な時間となりました。

2日目は全体会が行われ、記念講演として井村屋株式会社代表取締役会長CEO・中島伸子氏による「尊厳は明日の力」を拝聴しました。中島氏は、大学生時代に北陸トンネル火災事故に巻き込まれ、声を失い、夢であった教職の道を断念されたという壮絶な経験をお持ちです。その後、井村屋でのアルバイトをきっかけに社会人としての道を歩み始め、数々の困難を乗り越えながら女性初の経営者として活躍されてきた歩みは、まさに「尊厳」を体現するものでした。講演では、「子どもは世界の宝。たまたま自分の家に生まれ



てきた子を、親は愛おしみ育てる責任がある」という母としての信念や、「一人の100歩より100人の一歩」という組織づくりの理念が語られ、参加者の心に深く響きました。また、高校生レストランの取り組みを紹介する動画も上映され、地域と学校、そして生徒たちの成長が一体となった姿に感動を覚えました。

(事務局)



## 専門委員会 活動報告

### PTA環境整備活動 石鳥谷駅周辺清掃

環境整備委員長  
照井 千春



7月23日に環境整備の活動として、JR石鳥谷駅周辺の清掃活動を行いました。無人駅になってから初めてのことです。

当日は、先生方とPTA、生徒13名が参加しての作業となりました。男子生徒はフェンスに絡まった草取りを、女子生徒は落ち葉掃きやごみ拾い。父母は草刈機を使ったり、生徒たちと共に



に作業しました。石鳥谷駅が無人駅となった兼ね合いで、作業内容が変わりました。それまでは、駅の待合室、地下通路及び西ロータリー付近の清掃作業でしたが、駅構内の清掃は行わず、周辺のごみ拾いや草取りなどの作業となりました。

昨年は豪雨のため中止、今年は熊の出没に警戒しました。毎日暑さが強く、16時近くからの作業でもかなり暑かったです。途中水分補給しつつ作業を行いました。みんなの協力のおかげできれいになりました。

3年間この環境整備委員をさせていただきました。毎日、子供たちが利用している石鳥谷駅。年に一度だけですが、気持ち良く利用してもらいたいし、毎日お



かげさまの気持ちを込めての作業です。ボランティア活動は良い経験でした。ありがとうございました。

### 登校時一声・ マナーアップ運動 10月10日(金)生徒昇降口

#### 挨拶運動と地域行事の 参加を通じて

校外生活指導委員長  
高橋 庄一



今年度校外生活委員会の委員長を務めました高橋と

申します。本校のPTAは、高校のPTAとしては、これまでとても活発に活動をおこなってきました。各行事には大勢の皆さんのご参加もいただけてきました。こうした良いところを大切に

切にしつつ、子ども達のために、PTAとしてできることは何なのか？を委員長を任せられた初めに考えました。

PTA活動に正解は無く、その時々に合わせて変化させていくことが大事だと校外生活委員会の活動をしていくなと思いました。委員の皆さんからもご意見をいただきながら、諸先生方のご協力を頂き、委員会の活動を行ってまいりました。

子ども達にとって高校の3年間は将来の方向性を決める時期になります。子ども達には、自らの将来を自らの意志で決めてほしいと思います。

そのためにはまずコミュニケーションの第一歩である『挨拶』は大変重要なものと感じております。活動の一環である朝の挨拶運動は朝一番の子ども達の声のトーンでなんとなく雰囲気もや生徒会の子どもの顔を見て笑顔で会話をしている子ども達を見て大変微笑ましく、成長しているなと感じました。

また、令和6年から参加している地元地区で開催している夏祭りのボランティアとして参加しているという事です。私の地元地区でもありますので、校外生活委員として参加する子ども達を見守ってまいりました。見知らぬ大人達の中で、最初は不安がありました。が、元氣いっぱいの子とも達と、物怖じをしない子ども達を見て感慨無量な気持ちになりました。

日々大人の階段を上って行く子ども達にとって我々保護者は、子ども達からは一歩ひいたところで見守ってあげるのも大事なのかな



と考えます。どうしても敬遠しがちなPTAではありますが、楽しく誰でも参加できる。そんなPTAがこれからは子ども達の見守りにつながるんじゃないかと考えています。

校外生活委員会の第一の活動である『挨拶運動』はコミュニケーション能力の向上や地域との交流促進につながります。たかが挨拶と思う方もいるかもしれませんが、ですが人同士のコミュニケーションの第一歩は『挨拶』だと思えます。今後もこの活動が継続していただければ…と思います。

# 校内ロードレース大会

青雲一帯が  
パワースポットに！

保護者交流副委員長

森 恵美

毎年恒例のロードレース大会が10月15日に行われました。昨年の天候と打って変わる晴天のもと、熊との



遭遇を懸念しながらの開催となりました。昨年も役員として応援活動に参加し、生徒の皆さんの姿があまりにも素敵でしたので、この日を楽しみに今年も応援させて頂きました。

男子は8キロ、女子は4キロと短距離でもすぐに車を頼ってしまう私にとって、考えられない距離を駆け抜けるその姿は秋晴れの青空に負けない程にキラキラ輝いていました。生徒1人1人が「可能性」の塊に見えて、「可能性」の群が目の前を通り過ぎて行く度にこちらがパワーをもらえている気分になりました。当日は、館パン配りを他の委員さんにお任せ状態で応援に没頭してしまいました。委員の皆さん！ごめんなさい。

(笑)

運動が得意な生徒もいれば苦手な生徒もいます。かかる時間には違いはあっても、一步一步前進してゴー



ルを目指す姿はこれからの人生の歩みにも通じるものだと思います。

私の妹も花北商時代の卒業生で、当時のロードレース大会の様子を姪である娘に懐かしそうに話をしておりました。青雲だからこそ環境とかけがえのない仲間や先生方とこうして実施できる行事は、大人になって思い返せる素敵な宝物になることを25年以上前に高校生だった私も実感しております。

生徒の皆さん、皆さんのあの日の姿は自分たちが思っている以上に大人の心を強く揺さぶるものでした。人



の心を動かせるパワーを持っていることを自信につなげて下さいね。素敵な時間をありがとうございました。最後にになりましたが、子供たちが安全に走行できるようにコース内各所で見守って下さった先生方に心から感謝申し上げます。来年も青雲パワースポットを楽しみにしております！

### 鮮明な記憶

3年D組 寒川 透和  
 高校生活、最後のロードレース。去年は一位だったこともあり、たくさんの方々に応援して下さった中でのことでした。

私は陸上競技部に所属しており次の日に全国高校駅伝予選会を控えている状態でした。高校生活で一番悔いが残っていることはロードレースと向き合うことができている点です。毎年の日に駅伝を控えているという日程だったため、調整をしなければならず本気でロードレースと向き合うことができなかったことが心残りではあります。が、「二位をとる」と心に決めた私の決断は揺らぎませんでした。当日は期待と緊張を胸にスタートをきりまし



たが、三年間で一番楽しんでいる自分がいたと思います。結果がどうであれ、楽しく走り切れたことを嬉しく思います。最後に先生方や保護者の皆様のお力添えがあり、ロードレースを無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

## 令和7年 第60回 校内ロードレース大会結果

### ★連続栄誉賞

- 3B 八重樫駿斗 陸上競技男子
- 3B 菊池心実 陸上競技女子
- 3C 日向端優葉 バドミントン女子
- 3D 寒川透和 陸上競技女子

### ★部活動部門（1位）

- バドミントン部男子
- バドミントン部女子

### ★団体

- 1位 2年C組
- 2位 3年B組
- 3位 1年D組

### ★特別表彰（60位）

- 1C 岩館華 ソフトテニス男子
- 3A 小野寺凜 工学研究同好会女子

男子 8Km	年組	名前	所属部	記録
1位	2C	工藤 夢羽叶	バドミントン	27分21秒
2位	2C	松下 倅大	バドミントン	27分30秒
3位	1C	金子 黎	硬式野球	28分3秒
4位	2B	高橋 新太	バドミントン	28分12秒
5位	2B	小野 快成	硬式野球	28分24秒
6位	3B	八重樫 駿斗	陸上競技	28分30秒
7位	1C	工藤 惺大	陸上競技	28分32秒
8位	1B	平賀 成龍	バドミントン	28分40秒
9位	1A	三田地 永翔	バドミントン	28分43秒
10位	2B	佐藤 琉斗	バレーボール	28分57秒

女子 4Km	年組	名前	所属部	記録
1位	3D	寒川 透和	陸上競技	14分48秒
2位	2B	佐藤 寧音	陸上競技	15分40秒
3位	2B	斎藤 瑠可	陸上競技	15分59秒
4位	2B	中川 朝陽	バドミントン	16分6秒
5位	2C	井島 捺妃	バドミントン	16分10秒
6位	3C	日向端 優葉	バドミントン	16分11秒
7位	1D	幅下 瑠華	バドミントン	16分19秒
8位	2D	佐々木 愛莉	バドミントン	16分42秒
9位	3B	菊池 心実	陸上競技	17分19秒
10位	3D	菊池 恋々奈	陸上競技	18分9秒



PTA学習委員会  
主催講演会  
10月15日(水)

「夢に向かって！  
今、あなたのできること」

講師

株式会社ミキハウス  
冒険家 坂本 達氏

夢に向かって

学習委員長 奥村 加奈子



例年通りであれば、学習委員会主催の学習旅行が開

催されておりましたが、ここ数年は参加者が集まらず中止となっております。今年度は平賀PTA会長の発案により、ミキハウスの社員でありながら自転車世界一周を成し遂げられた坂本達さんをお招きして講演会を行う事となりました。

当日坂本さんは、なんと自転車に乗って体育館に登場。生徒たちからはどよめきが起こりました。実際に世界を周った際に乗っていた自転車の現物ではありませんでしたが、同じタイプの自転車を生徒たちのために用意して下さっていたのです。

坂本さんのお話は、ご自身が子どもの頃いじめを受けた体験から始まりました。

転校先の学校で他の子と違う事を理由にいじめを受けて、その時に父親から掛けてもらった「世界は広い。色々な考えの人達が一緒に暮らしているんだ」という言葉をきっかけに、世界に目を向けるようになっていったそうです。小学生であれ高校生であれ、その時目の前で起こっている出来事が自分の世界の全てであると思ってしまう事は当然だと思います。目の前の苦しい事だけではなく、もっと広い視野を持つ事をアドバイスできたお父様の考えは素晴らしいものだと思います。

坂本さんは旅のエピソードを交えながら、生徒たちに様々なアドバイスをくださいました。ジャングルの分かれ道でどちらに行こうか迷った話では、その道は結局同じ道につながっていたという事から、「間違え



た選択をしても戻ればいい。行動しなければ結果は出ないから勇気を持つとう」という事をおっしゃっていました。生徒たちはこれからの人生で、進路やその他の事において様々な選択を迫られる場面に遭遇すると思います。人は誰でも失敗したくない

と思ってしまうと思います。悩む事は決して無駄な事ではないと思います。悩んで悩んでそれでも勇気が出ない時は坂本さんのお話を思い出し、一歩を踏み出してほしいと思います。そして、人との関わり方について何度もお話されて



いました。挨拶をする、困った時には人の力を借りる、人との出会いを大切に。このような事は、社会人になってから実践しようと思っても、一朝一夕には出来ないと思います。学生である今の内から心掛けていけば自然と身についてくるはずですよ。人は一人では生きていきません。助けてあげた人が、自分が困っている時に手助けしてくれる人になるかもしれません。未来の自分のために、今から行動に移しましょう。

これから社会へ出ていく生徒の皆さんは、どんな夢や目標を持っていますか？

すでに決めている方達は、叶えるために努力されている事と思います。まだやりたい事がわからないという方も多いかもしれません。今は夢や目標がなくても、小さな目標を決めて一つずつ達成していくうちに、自分に向いている事ややりたい事が見つかるかもしれません。

今回の講演会のタイトルにもある「今あなたにできること」。この言葉を忘れず、そして坂本さんのお話を思い出しながら、目の前にある小さな目標を一つずつクリアし、大きな夢を叶えてほしいと願います。

# 青雲祭

10月18日(土)

## PTA展 おふくろ亭 大成功!

保護者交流委員長

高橋 正幸

まずは今年度のおふくろ亭にご協力いただいた担当の先生方、保護者の皆様、ご来場いただきご購入いただいたお客様に感謝申し上げます。おかげさまで、昨年度を大きく上回る盛況ぶ

りで終えることができませんでした。本当にありがとうございました。

今回で2度目の参加となった「おふくろ亭」でしたが、今回は保護者交流委員会委員長として、企画から携わることとなりました。そこで、私が考えたのは、1. なるべく長く活動を行いたい。2. 生徒の企画よりも目立ってはいけないが、「あっ!ちよっ

と買ってみようかな。もしくは、少し食べて休もうかな。」と考える休息所したい。でした。

そこで、4月の専門委員会でも、まず、手軽に買えて休息所でも食べられ、持ち運びもできるもの、しかも匂いが食欲を駆り立てるものとして、「玉こんにゃく」を提案しました。それから10月に

準備の段階に入り、昨年度までの販売品に提案した玉こんにゃくを加え、販売方法も保護者の方々と担当の先生方と工夫を加え、シフォンケーキは時間を区切り、販売を行うことでいつもお客様が来てご購入できる仕組みや物品の準備を進めました。値段もできるだけ購入しやすい価格(できるだけワンコイン)で考えました。さらに今年度は、校内公開にあたる金曜日にはハーサルを兼ねて、販売を行いました。これらのことを行ったことで、当日の活動の修正点も見え、当日の準備がスムーズに行うことができました。

当日は、さらに、Genki様がコーヒーを豆でご準備いただいたことで、その場で挽き、淹れて出すことで玉こんにゃくの匂いに加え、コーヒーの良い香りが立ったことで予想をはるかに上回るお客様となり、昨年度よりも2時間近く長く販売を行うことができました。参加していただいた保護者の方々も午前からの方もそのまま販売に参加していただき、片付けまでご協力いただきました。販売するだけでなく、PTAとしても団結し、成功できた素晴らしい機会となりました。



**中部地区  
保護者交流会**  
10月15日(水)

**中部地区保護者  
交流会に参加して**

保護者交流会委員

七木田久美子



11月21日西和賀高校にて、保護者交流会が行われ参加して来ました。今回は、雪国のだんご屋『団平』の店主高橋様を講師としてお迎えし、わらび餅についてのお話と実演をしていただき



ました。「わらび餅」は、わらびの根からデンプンを取り、時間と手間をかけわらび粉を作り、砂糖と水を混ぜ練り上げて作る工程が本来の作り方とお話されました。実演では、銅鍋を使い同じリズムで材料を混ぜ合わせ、とろみが出てきても温度は下げず常に同じ温度を保ち練り続ける職人技を見せて頂きました。完成の時には他の学校の方々と一緒に歓声を上げました。出来たわらび餅は、ほんのり甘く舌触りも良くとても美味しく頂きました。短い時間ではありましたが、他校の保護者役員の方々とこの様な交流の場に参加しとても有意義な時間を過ごす事が出来ました。

**学年委員長より**

3学年委員長

吉田 貴浩



3年生の保護者の皆さん、ご卒業おめでとうござい

ます。この一年間、PTA活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響が残る中で始まった高校生活も、徐々に日常を取り戻しつつ、以前のような活

気が戻ってきました。生徒たちがマスクを外し笑顔で生き生きと活動する姿は、コロナ禍で見られなかった光景であり、保護者の皆様にとっても感慨深いものであったかと思えます。

体育祭やロードレース大会、青雲祭などの学校行事には、生徒達の明るい笑顔と真剣なまなざしが輝いていました。PTAとしても、保護者の皆さまと協力し、様々な活動を支えてまいりました。特に進路指導や受験に向けたサポートでは、保護者の皆さまの温かなご協力とご理解が大きな力となりました。

お子様の成長を見守りながら、時には悩みを共有しながら、時には悩みを共有しながら、喜びを分かち合ってきた日々は、私たち親にとってかけがえのない思い出となりました。今後も、子どもたちの健やかな成長を願い、3学年委員長として、皆さまと共に歩んだ一年間に心より感謝いたします。

**あと一年**

2学年委員長

瀬川 里美

保護者の皆様、先生方のご指導・ご鞭撻でここまで成長する事ができました。感謝申し上げます。

今年度2学年PTAは修学旅行説明会が十月三十一

日に保護者八十六名の参加で行われました。私の代わりに副委員長が司会進行していただきありがとうございます。説明会の他、成績概況、進路概況など報告を受けました。学校からのメール報告で修学旅行は楽しめた様子で安心いたしました。(個人的な事ですが息子が前日まで体調不良だったので心配でした。)修学旅行前にロードレース、講演会、青雲祭と多忙な数カ月だったと思います。また、熊の出没情報が多く不安な日々でした。



て頑張っている事と思えます。一年はすぐに終わってしまいますので、保護者の皆様、先生方に見守っていただければ幸いです。

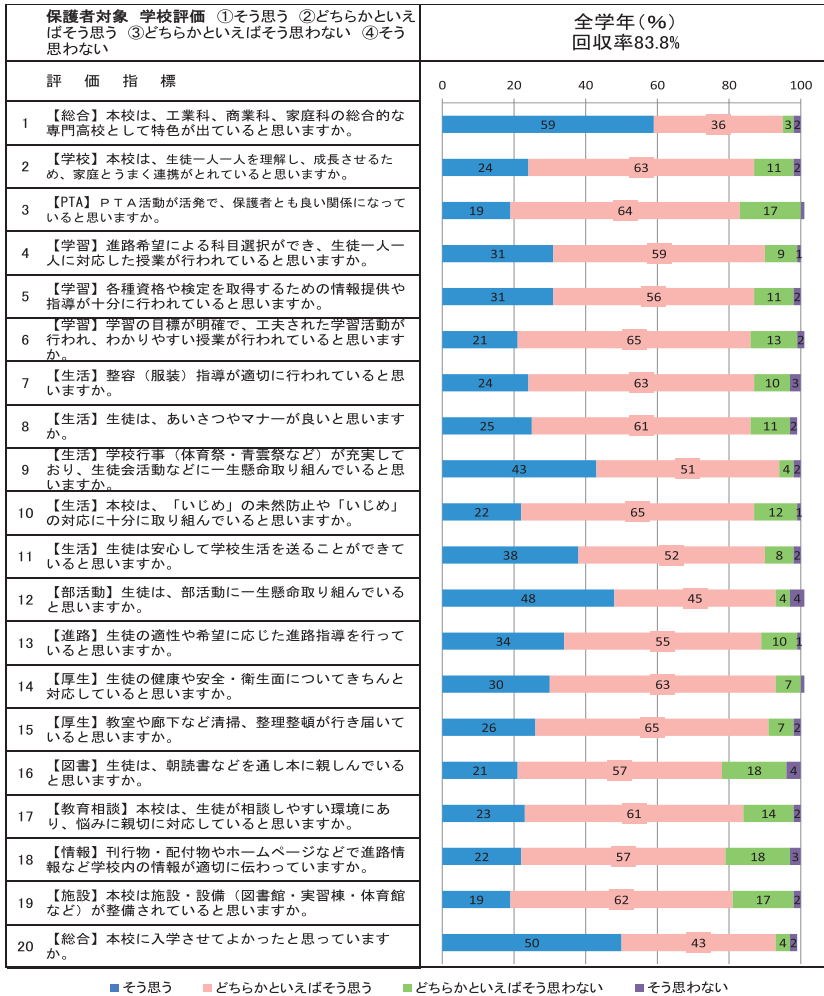
**1学年委員長として**

1学年委員長

多田 睦恵

4月に花北青雲高校に娘が入学して、私の高校PTA活動がスタートしました。PTA役員先輩方、先生方に歓迎され、みなさんとPTA大会へ参加することが出来ました。内容は想定し

# 学校評価に係る保護者アンケート集計



ていたものと大きく異なり、良い意味で予想を覆す情熱のPTA発表会でした。それに感化され、できること、やれることは何でもしよう。という目標を掲げ、研修会に参加するだけでなく、先生方とともに子供達の学校生活を少しでも盛り上げられたらよいな、との思いから、マラソン大会や文化祭に参加させていただきました。

マラソン大会では、コースに出でカメラを向けると、子供達は喜んで映ってくれ、文化祭ではブースを案内してくれたり、盛り上げるつもりがとても楽しく過ごさせていただけました。楽しく活動できたこと、本当にうれしく思います。2年次も楽しく活動し、先生方と共に子供達を支え、花北青雲高校を盛り上げていきたいです。



ロードレース大会みんなを後ろから

## 全国大会出場

### 簿記競技大会

3年B組 大和 走汰

私は7月25日に千葉商科大学で開催された全国高等学校簿記競技大会に出場しました。6月に行われた岩手県予選で個人代表に選ばれ、本番に向けて練習に励みました。二年の時にも予選には出場しましたが、全点をとれなかったのが、一年越しに過去の自分を越えることが出来たので良かったです。一ヶ月という短い期間でしたが、自分なりに頑張れたと思います。

実際に大会に出場して、岩手県予選よりも圧倒的に規模は大きく、問題の難易度も高くて驚きました。また、周りの学生の電卓やペンの音に惑わされてしまい、満足のいく結果を残すことはできませんでした。しかし、将来、会計の職に就こうと思っている私にとって、この経験は有意義なものとなりました。支えてくれた友人や先生方、親には感謝しかありません。

### 情報処理競技大会

3年B組 大和 走汰

私は7月26日に千葉商科大学で開催された全国高等学校情報処理競技大会に出場しました。6月に行われた岩手県予選で入賞し、個人代表として出場することになり、本番に向けて練習に励みました。調査明けという難しい期間でしたが、自分なりに頑張れたと思います。

### ビジネス計算競技大会

2年C組 森 希々花

私が、珠算部として全国大会に出場できたことは、本当に大きな経験でした。これは、決して自分一人の力では経験することができませんでした。毎日の練習を支えてくださった先生方や応援してくれた家族、毎

# 全国大会出場

日一緒に努力してきた部員の存在も、とても心強かったです。

この経験で学んだ努力の大切さや感謝の気持ちを忘れず、これからの部活動や学校生活でも成長していきたいです。

1年B組 大澤 祐佳  
珠算部に入部したての1年生で全国大会に出場できるとは思っていなかったのでも嬉しかったです。表彰されるような成績を出すことはできませんでしたが、全国のレベルを経験できたことはよい経験になったと思います。出場す



るにあたって先輩・先生方に応援していただきました。心から感謝しています。来年も全国大会に出場できるように、安定した成績を増やしたり、解ける問題を増やせるように練習していきたいです。

## ワipro競技大会

3年C組 田村 滯央

私は7月29日に東京都で開催された全国高等学校ワipro競技大会に出場しました。この大会は、10分間でどれだけ文章を早く、そして正確に打つことができるかを競います。

5月に行われた県大会では、団体2位、個人4位という結果となり、2度目の全国大会出場権をいただき、9大会連続全国大会出場となりました。大会後、私は去年の全国大会で学んだことを活かし、そのときの雰囲気や思いを出して、本番まで気を緩まずに部活だけでなく家でも練習に励みました。迎えた当日、私は、これで最後の大会なので、悔いの残らず楽しく貴重な機会にしようと思ひ、本番に臨みました。結果は、1395字で、去年の全国大会では1229字だったので、打数を伸ばすことができ、普段の練習の記録より多く

打つこともできたので良かったです。

今まで支えてくれた顧問の先生方や家族、また一緒に頑張ってきた部員のみなさんのおかげで最後まで楽しむことができました。部長としての責任を持ち、仲間と成長できたことを、これからの生活に役立てていきます。

## 全国かるた選手権

全国かるた選手権大会の応援記

3年C組 鈴木望々・父



鈴木 武広

7月21日に開催された、「小倉百人一首競技かるた第47回全国高等学校選手権大会」に出場する娘の応援のため、同行しました。本大会はかるたの聖地と呼ばれる、滋賀県近江神宮および周辺施設で開催され、全国より多数の選手が出場する、高校生には名誉ある大会のようです。

娘が出場した二段の部は、滋賀県立武道館が会場で、昨年とは異なりギャラリィで観戦できました。昨年は初段の部で初戦敗退でしたが、今回は全国大会での悲願の一勝を目標に臨み、見事達成することができまし

た。

また、翌週には「かがわ総文祭2025」にも岩手代表として団体戦に出場し、一勝を挙げることができました。

上記2大会で高校での大会出場は終わりましたが、顧問の先生を始め、学校側の支援もあり充実したクラブ活動ができ、感謝しております。本人は卒業後も競技を継続すると言っており、今後の活躍を期待しています。



オレンジが望々さん



## 高総文祭小倉百人一首かるた部門

3年C組 鈴木 望々

私は7月26日から29日に香川県高松市で開催された



第49回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門に出場しました。この大会は県大会の上位8名で岩手県代表として出場するたため一関第一高校、水沢高校の方と大会に臨みました。私たちの予選ブロックの相手は、広島県、山形県、青森県でした。山形県及び青森県との試合では、東北大会で何度か試合をしてい

るため、攻めがたができて、勝利しました。しかし、広島県との試合は実力差が大きく、予選敗退という結果になりました。今回の大会を通して、継続することの大切さを実感しました。私は高校からかるたを始めたので最初は負けてしまうことも多く何度も辞めたいと思いましたが、練習を続けていくにつれてかるたが楽しくなり全国大会にも出場できるようになりました。この事は就職後の生活にも活かしたいと思います。

し、大会や練習の度に送迎をしてくれた家族に感謝し、今後も競技を続けていきたいです。

### 第20回全国高校生短歌大会 (短歌甲子園2025)

8月15(金)～17日(金)  
アイーナホール(盛岡市)

### 全国短歌甲子園への挑戦

2年D組 小野寺 里南

私たちは全国短歌甲子園に出場しました。会場には全国の高校生が集まり、短歌を通して繋がる独特で温かい雰囲気がありました。短歌を作る中で、日常の小さな気持ちを31字で表現する楽しさを改めて実感しました。今回学んだことをこれからの文芸活動に生かし、来年また挑みたいと思います。

2年B組 伊藤 羽菜

今回の大会に参加したことで、より深く短歌に触れることができました。時間の少ない中で準備をし、大会に挑みましたが、自分の力を最大限に発揮できたと思います。大きな結果を出すことはできませんでしたが、自分の短歌の長所と短所を見つけることができ、とても良い経験となりました。

1年C組 佐々木 実泉

全国短歌甲子園では、試合には負けてしまいました。自分の作品を改めて見つめ直したり、新しい視点の発見をしたりすることができました。また、たくさんの作品に触れることにより、多くの学びを得ることができました。これからの活動に活かしていきたいです。



### 全国高校総体 バドミントン競技

ついに念願のインターハイ

3年B組 照井晴空・父  
保護者会長 照井 了



決勝まで勝ち進み、苦戦しながらも確実にポイントを取り、最後まで諦めず挑戦し続けた結果がインターハイ出場へつながった。

総体直前合宿の頃より少しずつ確実に土気が高まってきていることを感じ、試合では選手、サポート、応援とそれぞれの役割を果たしていた事が結果につながったと思います。

この経験を自分の進路、人生に活かしてくれると期待しています。歴代先輩方を始めバドミントン部に関わり下さったすべての方々に心より感謝申し上げます。

### 第79回国民スポーツ大会 バドミントン競技

高校最後の全国大会

3年B組 麦倉花・父  
麦倉 清高



高校合格の知らせが来た日、喜びながら帰ってきた娘が「高校でバドミントン

全力でやる」と口にしてから、あっという間に2年半が過ぎました。

9月28日、滋賀県で開催された国民スポーツ大会バドミントン競技の応援に行きました。

国スポでは各県から3名が代表として選ばれますが、岩手県代表の3名全員が花北青雲高校から出場するという嬉しい快挙となりました。

試合結果は一回戦で長野県に勝利し、二回戦では強豪の福島県と対戦。力の差を痛感する結果となりましたが、最後まで全力で挑む姿に胸を打たれました。

これまで日々練習で励まし合った仲間、色々な経験をさせて下さいました顧問の先生方やコーチ、OBの皆様ご指導本当にありがとうございました。

そしてご協力いただいた多くの皆様に感謝し、今後も花北青雲高校バドミントン部のさらなる活躍を応援しています。

優しさや仁の心を持ち、光のように輝き花のように咲いてください。

### 第55回全国高等学校選抜 バドミントン大会

2年D組 石川 希音  
私たちは、3月に香川県

で行われる第55回全国高等学校選抜バドミントン大会に出場します。

私たちの目標は1回戦突破です。1月に行われた東北選抜大会では全国トップレベルの高校と対戦しその差を思い知らされました。

全国で通用する技術・体力を身につけるために質の高い練習を意識して取り組みたいです。確実に1点をとるために、コントロールを意識したショットの練習や次につなげるためのレシーブの練習などに特に力を入れていきます。

私たちは、今までの大会ごとにそれぞれの感じた反省点を次の課題へと生かし、目標は1回戦突破ではありませんが、さらに一つでも多く勝てるように日々努力して行きたいと思えます。

### ジャパン マイコンカーラリー

令和8年1月10(土)・11日(日)  
日本工学院北海道専門学校

2年A組 千葉 友輔

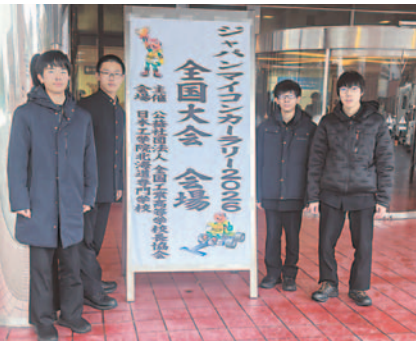
私はJMCR2026全国大会に参加し、マイコンカーの奥深さと準備の重要さを強く実感した。全国大会という高いレベルの大会に出場したことで、これまでの取り組みを客観的に見直す機会となった。今大会

# 令和7年度 部活動等成績

の目標は完走することであり、その点については無事に達成することができた。しかし、2走目からマシンにトラブルが発生し、十分な走行性能を発揮できず、納得のいくタイムを出すことができなかった。

一方で、多くの学びも得ることができた。他の選手のマイコンカーの走り方や車体構造は非常に参考になり、自分には、経験やデータがまだまだ足りていないということを感じた。また、事前のメンテナンスや確認作業が結果に大きく影響することを身をもって学んだ。準備不足が結果に直結することを強く意識するようになった。

今回の経験を今後に生かし、データの蓄積と十分な準備を重ね、より安定した走行と記録向上を目指していきたい。



## 硬式野球部

- ◆第77回春季東北地区高等学校野球岩手県大会 県大会 青雲●1-12 一関学院
- ◆第107回全国高等学校野球選手権岩手大会 1回戦 青雲●4-8 盛岡四
- ◆第78回秋季東北地区高等学校野球岩手県大会 初戦の2回戦 青雲●9-10 花巻農業 敗者復活1回戦 青雲●4-11 遠野

## ソフトボール部

- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
- 2回戦 対盛岡市立・久慈○7-1 準決勝 対花巻東●1-23 (5回コールドで敗退) ベスト4 第3位
- ◆第18回岩手県高等学校女子ソフトボール大会 (盛岡市立高校との合同チーム)
- 2回戦敗退 対専修大学北上●1-24
- ◆第72回岩手県高等学校新人大会ソフトボール競技
- 2回戦敗退 対高田・宮古商工●9-10 (専修大学北上・岩谷堂・水沢商業との合同チーム)

## 卓球部

- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技 県大会
- 団体 第3位 (東北大会出場)
- 個人
- 田中皓大 ベスト32
- 阿部 1回戦敗退
- 山本、八重樫、七木田、2回戦敗退
- ダブルス
- 阿部・田中 ベスト16
- 七木田・藤原 2回戦敗退
- 八重樫・赤石 2回戦敗退
- 北條・山本 1回戦敗退

- ◆令和7年度第71回岩手県高等学校新人大会卓球競技 県大会
- 学校対抗 ベスト16
- 個人戦ダブルス
- 田中皓大・八重樫貴太郎 ベスト16
- 高橋大翔・佐々木良 ベスト16
- 個人戦シングルス
- 田中皓大 ベスト16
- 八重樫貴太郎、菊池竜史、高橋大翔、

- ◆第53回全国高等学校選抜卓球大会 (個人戦) 岩手県予選
- シングルス
- 田中皓大 ベスト16
- ◆【女子】
- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会卓球競技 県大会
- 団体 ベスト8
- 個人
- 玉山 暖 ベスト16 (東北大会出場)
- 藤井香菜子 2回戦敗退
- 佐藤桃花 2回戦敗退
- 照井心陽、吉田智咲、吉清水菜穂 1回戦敗退
- ダブルス
- 玉山 暖・藤井香菜子 第3位 (東北大会出場)
- 吉田智咲・高野伽菜 2回戦敗退
- 照井心陽・三浦雪乃 2回戦敗退
- 吉清水菜穂・柏心玲 1回戦敗退
- 佐藤桃花・高野伽菜 1回戦敗退
- ◆令和7年度第71回岩手県高等学校新人大会卓球競技 県大会
- 団体 ベスト4 第3位
- 個人戦ダブルス
- 三浦雪乃 1回戦敗退
- 吉田智咲 2回戦敗退
- 佐藤桃花 3回戦敗退
- 藤井香菜子 3回戦敗退
- 玉山 暖 ベスト4 第3位
- ◆第53回全国高等学校選抜卓球大会 (個人戦) 岩手県予選会
- シングルス ベスト16
- 佐藤桃花
- 藤井香菜子
- 高野伽菜
- 玉山 暖 3位

- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技
- 1回戦 対盛岡工業●1-2
- ◆第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会 (地区予選敗退)
- ◆第73回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技県大会
- 1回戦 対岩谷堂○2-10
- 2回戦 対水沢第一●0-2 (ベスト16)

- ◆【女子】
- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技
- 1回戦 対水沢●0-2
- ◆JVA第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会
- 1回戦
- ◆第77回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技
- 対花巻南●0-2 ベスト16
- ◆第73回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技
- 対専大北上●0-2

## 柔道部

- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会柔道競技
- 男子団体戦
- 1回戦 対宮古水産○2-2
- 2回戦 対岩手●0-5
- 女子団体戦
- 1回戦 対盛岡市立●0-3
- 男子個人戦
- 60kg級 福田大空 1回戦敗退
- 90kg級 阿部隼清 2回戦敗退
- 女子個人戦
- 52kg級 奥富南子 第3位
- 78kg級 多田愛菜 1回戦敗退
- ◆第70回岩手県高等学校新人柔道大会柔道競技
- 男子個人戦
- 60kg級 1回戦敗退 菊池琉翔
- 無段の部 重量級
- 高橋樹生 第3位
- 女子個人戦
- 52kg級
- 奥富南子 2回戦敗退 ベスト8
- ◆第48回全国高等学校柔道選手権大会岩手県大会 富士大学旗争奪高校柔道大会
- 男子個人戦
- 無段の部 73kg超級 高橋樹生準優勝 (東北大会出場)
- 女子個人戦
- 52kg級 奥富南子 2回戦敗退
- ◆第48回全国高等学校柔道選手権大会東北地区大会
- 男子無段の部 73kg超級
- 高橋樹生 1勝1敗 決勝トーナメント出場ならず

- ◆【男子】
- ◆第77回岩手県高等学校総合体育大会バドミントン競技 県大会
- 学校対抗
- 1回戦 花北青雲○3-2
- 2回戦 花北青雲●1-3
- 男子ダブルス
- 1回戦 高橋好誠・高橋楓●0-2
- 佐々木歩希・照井晴空●0-2
- 工藤夢羽叶・高橋新太●0-2
- 男子シングルス
- 1回戦 高橋新太●0-2
- 2回戦 高橋好誠○2-0
- ◆令和7年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
- 男子ダブルス
- 1回戦 佐々木歩希・照井晴空●0-2
- 男子シングルス
- 1回戦 高橋新太●1-2
- ◆第70回岩手県種目別バドミントン選手権大会
- 少年の部男子ダブルス
- 2位 高橋好誠・高橋楓
- 4位 高橋新太・工藤夢羽叶
- ベスト8 佐々木歩希・照井晴空
- 平賀成龍・山崎強生 齊藤遙斗・新田煌栄
- ベスト16 上川統志・高橋優心 猿舘 馴・菊池詩季
- 2回戦 藤原真栄・佐々木日向
- 少年の部男子シングルス
- 2位 佐々木歩希
- 3位 齊藤遙斗
- 4位 工藤夢羽叶
- ベスト8 高橋好誠 高橋新太
- ベスト16 山崎強生



詩 優良賞 小野寺里南  
 ◆第40回全国高等学校文芸コンクール  
 詩 優秀賞 小野寺里南  
 ◆第32回岩手県高等学校から選手権大会  
 団体戦 第3位 (鈴木・佐藤・小野寺・佐々木)

個人戦上級 第3位 鈴木望々  
 個人戦中級 第2位 佐々木実泉  
 ◆第18回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた選手権大会  
 団体戦 (岩手県合同チーム)  
 第8位 鈴木望々  
 ◆小倉百人一首競技かるた第47回全国高等学校選手権大会

個人戦C級 第8位 鈴木望々  
 ◆第49回全国高等学校総合文化祭  
 小倉百人一首かるた部門  
 団体戦 (岩手県合同チーム)  
 出場 鈴木望々  
 ◆第32回岩手県高校かるた大会  
 (第48回岩手県高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門)

個人戦 第7位 佐々木実泉  
 第8位 伊藤羽菜  
 ◆第32回東北・北海道高等学校小倉百人一首かるた新人大会兼第50回全国高等学校総合文化祭 (あきた総文2026) プレ大会  
 団体戦 (岩手県合同チーム) 7位 佐々木実泉 伊藤羽菜  
 個人戦 第3位 小野寺里南

**O A部**  
 ◆令和7年度岩手県高等学校ワープロ競技大会  
 団体 第2位  
 個人 第4位 田村滯央 (全国大会出場)

◆令和7年度第72回全国高等学校ワープロ競技大会  
 個人 第119位 田村滯央 (235名参加)  
 ◆令和7年度岩手県高等学校新人ワープロ競技大会  
 団体 第3位 (東北大会出場)

個人 第2位 平澤叶翔  
 ◆令和7年度東北六県高等学校ワープロ競技大会  
 団体 第12位 (26団体参加)  
 個人 第13位 平澤叶翔  
 第39位 中村友翼  
 第49位 藤原結唯 (78名参加)

**生活研究同好会**  
 ◆社会福祉推進校の実践活動

タオル布巾のケーク製作  
 いしどりや子ども園への寄贈  
 ◆石鳥谷フードパントリーへの協力

**工学研究同好会**  
 ◆令和7年度マイコンカーラリー北東北大会  
 アドバンスクラス 準優勝 後藤 涼  
 ベーシッククラス 第3位 千葉友輔

**情報処理選抜**  
 ◆令和7年度岩手県高等学校情報処理競技大会  
 団体 第3位  
 個人 第3位 大和走汰 (全国大会出場)

**簿記選抜**  
 ◆令和7年度岩手県高等学校簿記競技大会  
 団体 第3位  
 個人 大和走汰 第7位 (全国大会出場)

**その他**  
 ◆2025第44回岩手県牛乳・乳製品コンクール  
 優秀賞 藤原彩桜奈  
 ◆令和7年度地産地消料理コンクール  
 最優秀賞 大竹凜音



## 体育祭



## 青雲祭





# 令和7年度PTA役員 ありがとうございました

PTA役員 敬称略(専門委員会)  
会長 平賀 弘典(学習)

副会長

高橋 正幸

吉田 貴浩

瀬川 里美

阿部 樹

盛川 誠

多田 睦恵

石館恵美子

菊池 宗大

監事

高橋 庄一(校外生活指導)

菊池真知子(広報)

齊藤 稔(広報)

理事

◎3学年

委員長

吉田 貴浩(環境整備)

副委員長

高橋 正幸(保護者交流)

理事

高橋美穂子(広報)

北田 道子(保護者交流)

七木田吉明(保護者交流)

照井 昌子(広報)

前田知香子(保護者交流)

奥村加奈子(学習)

千崎美実江(校外生活指導)

照井 千春(環境整備)

◎2学年

委員長 瀬川 里美(学習)

副委員長

阿部 樹(環境整備)

盛川 誠(環境整備)

理事

大窪 純菜(広報)

川上 藍(学習)

菊池 愛美(保護者交流)

玉山 静江(保護者交流)

宮田 万紀(校外生活指導)

菊池亜華里(校外生活指導)

森 恵美(保護者交流)

小野寺育子(保護者交流)

◎1学年

委員長

多田 睦恵(保護者交流)

副委員長

石館恵美子(学習)

菊池 宗大(広報)

理事

藤原 智恵(校外生活指導)

伊藤 雄二(校外生活指導)

新里 剛(学習)

吉田 瑞希(環境整備)

小原矢恵子(環境整備)

高橋みどり(保護者交流)

徳田ひろ美(保護者交流)

高橋 貴恵(保護者交流)

## お知らせ

令和7年度岩手県高等学校PTA連合会第30回広報紙コンクールにおいて花北青雲PTA会報第108号(2025.3.1発行)が「優秀賞」に入賞しました。

本作品は2月13日開催の東北地区高等学校PTA広報紙コンクールに応募し、県高P連ホームページに掲載することを報告します。寄稿・編集にご協力いただきありがとうございました。

## 編集後記

今年度もPTA会員の皆様のご協力でPTA会報第109号を発行する運びとなりました。ご執筆をいただいた方々に感謝申し上げます。本広報以外にも、学校の様子は「学校ホームページ」で更新されておりますので、どうぞご覧ください。今後もより良い会報にしていきたいと思っておりますので、保護者の皆様からのご意見・ご要望を広報委員会までお寄せください。

広報委員長 照井 昌子

## 令和7年度事業経過報告

- 令和7年
- 4月8日(火) 入学式・PTA入会式  
1学年PTA理事会
  - 23日(水) 第1回役員会・理事会
  - 5月2日(金) PTA総会 3学年PTA
  - 13日(火) 中部地区PTA連絡協議会  
(黒沢尻工業高校)
  - 14日(水) PTA専門委員会
  - 6月4日(水) 県高P連定期総会並びに研究協議会  
(サンセール盛岡)
  - 7月1日(火) 第74回東北地区高P連宮城大会  
(~2日 仙台市)
  - 23日(水) 環境整備委員会石鳥谷駅周辺清掃  
(石鳥谷駅周辺)
  - 8月21日(木) 第74回全国高P連三重大会  
(~22日 三重県)
  - 9月24日(水) 県高P連第2回保護者つながる交流会  
(サンセール盛岡)
  - 25日(木) 第2回役員会
  - 10月9日(木) 3学年PTA
  - 10日(金) 登校時一声マナーアップ運動  
会計中間監査
  - 15日(水) 校内ロードレース大会応援活動  
学習委員会主催講演会(冒険家 坂本 達)
  - 17日(金) 県高P連会長研修会  
(平賀会長発表 サンセール盛岡)
  - 18日(土) 青雲祭 PTA展「おふくろ亭」
  - 31日(金) 2学年PTA
  - 11月21日(金) 1学年PTA  
中部地区保護者交流会(西和賀高校)
- 令和8年
- 2月24日(火) 第3回役員会
  - 3月1日(日) 卒業式 PTA会報発行  
3学年PTA「ことばの花束」